

アラスカ 冬のワンダーランド

Winter Wonderland, ALASKA

2025年3月22日（土）～3月31日（月）10日間



<写真はイメージです>

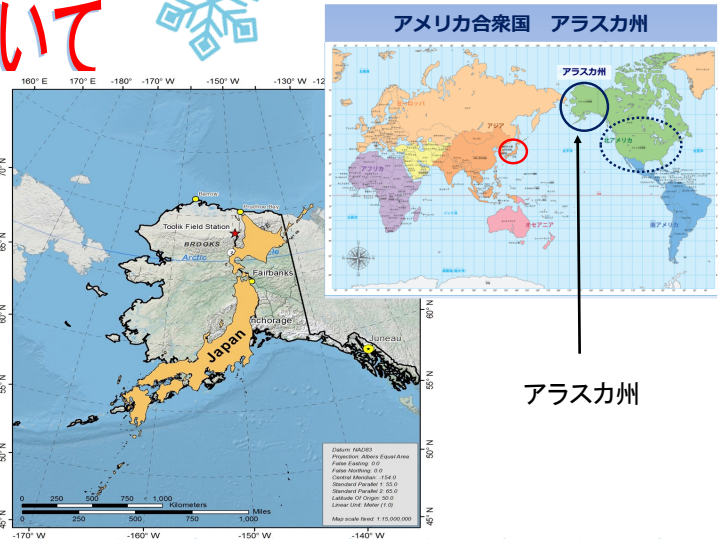
日本から一番近い北米、アラスカ州。日本の4倍の面積をもつこの州の最大都市、アンカレッジを拠点として広大な自然の中に身をおき、現在起きている自然現象を実際に五感で感じ、環境保全、生物多様性などについて学ぶことができます。3月、まだ寒い時には、マイナス8℃位まで気温が下がることがありますが、オーロラを見ることができるチャンスがあるかもしれません。3月は晴天率も高い時期です。また安全に気をつけながら野生動物の観察もこの地ならではの体験となるでしょう。

旅行企画・実施 株式会社ATI



アラスカ州・アンカレッジについて

- ☞ アラスカ州はアメリカ全体の1/5の面積、日本の約4倍
- ☞ 10万の氷河、300万の湖、12,000の川、100の火山
- ☞ 3844の山、そのうち3900m以上が7座
- ☞ アンカレッジの人口は約28万4千人、州の約40%
(岩手県盛岡市の人口が約28万人)
- ☞ 3月の平均気温:1℃ 日照時間約13時間
- ☞ 4月1日の日の出7:20、日の入り20:45
- ☞ アンカレッジ国際空港から街の中心までは約15分



アラスカの魅力



アラスカは、正確な地図が作成されていない土地が多いことから、「最後のフロンティア」とも呼ばれています。アラスカはアメリカ本土からも離れており、広大な原生地域が未開の地。手付かずの自然を楽しむことができます。そんな大自然の宝庫アラスカで自然観察、ハイキングや野生動物観察など、アラスカならではのサステナブルなアクティビティを体験すれば、生涯忘れられない旅になることは間違いありません。

地球の声をを感じる

氷河を間近で見学し専門家からの話を聞きながら後退している氷河の現実を知り、地球温暖化が進んでいる問題を学びます。また、永久凍土の融解による地形変化で周辺に住む人々の暮らしや生態系に重大な影響が及ぶ問題についても考えます。



アラスカでしか体験できないプログラム

通常の観光旅行では組み込むことのできない、専門家による説明を伴った見学・交流、体験アクティビティなども予定しています。日本よりかなり気温は低い中での活動となりますが、インドア、アウトドアそれぞれ安全面に気をつけながら事前準備をして行います。



アンカレッジ博物館
美術、歴史、科学を通じてアラスカと世界をつなぐ博物館



犬ぞり体験
先住民の伝統的な移動手段。操作方法を教わりながら体験



アラスカ野生動物保護区
傷ついた野生動物が、自然のままの姿で生活している様子を見学

学べる事 *What we can learn!*

★アラスカの氷河から

アラスカの氷河は地球温暖化の影響を強く受けており、その変化は地域や世界の環境にとって重要な指標とされています。実際に氷河を目の前にし

●氷河の縮小 ●氷河の溶解による影響 ●生態系への影響 ●温暖化の原因について詳しく学び考えます。

★アラスカの動物から

アラスカの動物から、その環境に適応する驚くべき能力や、生態系のバランスを保つ重要性など、多岐にわたり学ぶことができます。

●適応力と生存戦略 ●エコシステムとのつながり
●忍耐とサバイバル精神 ●多様性の尊重 ●自然変化への対応



★アラスカの先住民から

アラスカの先住民(ネイティブ・アラスカン)は、自然と共生しながら独自の文化や知識を築いてきました。彼らの伝統や生活の知恵から、私たちは多くのことを学ぶことができます。

●自然との共生 ●コミュニティの価値 ●サステイナブルな生活
●精神的な知恵 ●健康とウェルビーイング

●●●上記のラーニング・サーティフィケーションを発行します●●●

上記のプログラムをツアー中に体験、学習していただいた方には、現地手配会社

A&P社発行、アンカレッジ観光局監修の**修了証書**を発行いたします。

楽しめること *What we enjoy*

★初めての体験

●今まで体験した事のない寒さ ●今まで見たこともない自然の雄大さ ●野生動物観察

★カフェめぐり

●寒い土地ならではのインドア的生活習慣の場として様々なカフェが街中にはあります。

一緒に極甘のスイーツも試してみてください。



★ウィンタースポーツ体験

●犬ぞり体験
●アイススケート
●氷上ウォーキング





予定日程表



	月日	都市名	交通機関	現地時間	日程 (食事)＜宿泊地＞
1	2025年 3月 22日 (土)	東京(羽田) シアトル シアトル アンカレッジ	発 航空機 着 公共交通 シアトル 発 航空機 着 専用車	午後 夕刻 午前 夜 夜	羽田空港 第3ターミナルに集合 航空機にて経由地、シアトルへ 《所要時間:約10時間半/時差-17時間》 ~~~~~ 国際日付変更線 ~~~~~ 入国手続き、通関後、スーツケースを預け直す 公共交通にて、 シアトル市内見学 へ 航空機にてアラスカの玄関口、アンカレッジへ！ 《所要時間:約3時間50分/時差-1時間》 (機・機・×・×)＜ホテル＞
2	23日 (日)	アンカレッジ 	専用車	午前 午後	ホテルにて朝食後、専用車にて「 アンカレッジ博物館 」へ 美術、歴史、科学を通じてアラスカと世界を結ぶ博物館。アラスカ先住民の歴史や、自然環境について学びます アンカレッジの 市内を散策 市内のショッピングモールを中心に、各自散策を楽しみます。アートギャラリーなどを覗いて、アラスカ先住民アートを見つけましょう(各自、フードコートにて昼食) (B・×・D)＜ホテル＞
3	24日 (月)		専用車	終日	専用車にて「 アラスカ大学アンカレッジ校 」へ 17,000人が通う、アラスカ最大の都市型大学。広大なキャンパスのツアーや学生との交流を楽しみましょう(大学のカフェテリアにて、各自昼食) (B・×・D)＜ホテル＞
4	25日 (火)		アラスカ鉄道	終日	「 アラスカ鉄道 」にて片道約3時間の 列車の旅 北米大陸最高峰のデナリ山の玄関口、タルキートナ タルキートナにて、「犬ぞり体験」と、氷河観察 (×・×・D)＜ホテル＞
5	26日 (水)		専用車	午前 午後	専用車にて「 現地校訪問 」(予定) 同世代の生徒たちとの交流会。 午後 動物写真家より、アラスカの動物の生態、野生動物たちの写真の取り方について 近隣の湖(Potter Marsh)にて、 野鳥観察 など (B・×・D)＜ホテル＞
6	27日 (木)		専用車	午前 午後	専用車にて「 ポーテージ氷河 」へ 市内から車で約1時間半の ポーテージ湖から臨む氷河を観察 。凍る湖の上を歩くことができます (途中、「 アリエスカスキーリゾート 」があるガートウツの町に立ち寄ります) 午後「 アラスカ野生動物保護区 」へ 病気やケガで傷ついたり、親を失ったりした動物の保護区です 野生動物を間近に見ることが できます (B・×・D)＜ホテル＞
7	28日 (金)		専用車	午前 午後	市内の「 アラスカネイティブヘリテージセンター 」へ アラスカ民族についての講義を聴き、そのルーツをたどる 午後 アラスカの ウィンタースポーツ体験 天然のリンク「 ウェストチェスターラグーン 」にて、 湖上のアイススケートを体験 (B・×・D)＜ホテル＞
8	29日 (土)		専用車	午前 午後 夜	ホテルをチェックアウト、ミッドタウンにてショッピング 地元のスーパーマーケットなどを覗いてみましょう 午後 ホームビジット アラスカの一般家庭にお邪魔し、日常生活を体験します アラスカならではの料理や家の様子を見学 し、寒冷地での生活について学びます 夜 専用車にて空港へ。チェックイン手続き後、各自にて夕食 (B・×・×)＜機内泊＞
9	30日 (日)	アンカレッジ シアトル シアトル	発 航空機 着 発 航空機	深夜 早朝 午前	航空機にて、経由地、シアトルへ 《所要時間:約3時間40分/時差+1時間》 着後、乗り継ぎ、帰国の途へ 《所要時間:約10時間/時差+17時間》
10	31日 (月)	東京(羽田)	着	午後	到着後、入国・税関審査。解散 お気をつけてお帰りください

利用航空会社:デルタ航空 食事:B=朝食、L=昼食、D=夕食、機=機内食、×=なし

※日程及びスケジュールは天候、現地都合により変更になることがあります。

Winter Wonderland ALASKA



写真はイメージです

募集要項

1. 旅行期間 2025年3月22日(土)～3月31日(月) 10日間
2. 最少催行人数 10名(中学生以上、大人の方も参加できます) ※日本から添乗員1名が同行します
3. 旅行代金 755,000円

<旅行代金に含まれるもの>

- ・ 航空機(デルタ航空・エコノミークラス団体航空運賃)
- ・ 専用車での移動費用
- ・ 日程に明示した見学先でのプログラム費用、入場料
- ・ ホテル滞在費(2～4名滞在を基本)
- ・ 旅行日程中に明示した食事代(朝6回、夕6回)
- ・ 手荷物運搬料金(1人1個23kgまで)
- ・ 団体行動中の一切のチップ
- ・ 添乗員同行費用
- ・ 現地コーディネーター・サポート費用

<旅行代金に含まれないもの>

- ・ 日程に明示されていない食事代
 - ・ 渡航手続き諸経費(旅券の取得料金)
 - ・ 海外旅行保険料 15,007円
 - ・ 燃油特別付加運賃 50,000円*(2025年1月現在)
 - ・ 羽田空港及び海外空港施設使用料(国際観光旅客税含む)17,000円*
 - ・ 電子渡航認証(ESTA)申請手続料 21ドル(代行申請をご希望の場合は別途手数料がかかります)
 - ・ 個人的な費用(お小遣い等)
 - ・ 超過手荷物運賃(1人1個23kgを超過するもの)
- *2025年1月現在の費用です。変動する可能性があります。

4. 申し込み方法: 右記QRコードよりご入力の上、お申込ください。併せてパスポートをお持ちの方は、パスポートコピーをご提出してください。

お申込締切: 2025年1月31日(金)



5. 申込受付: 弊社にて申込を受領しましたら、自動返信メールが登録アドレスに配信されます。その後、締切日以降又は催行決定後に担当者より催行の可否をご連絡を致します。

【参加申込フォーム】

6. 申込金の納入

催行決定のご連絡後、40,000円を2月7日(金)までに下記口座にお振り込みください。申込金は旅行代金の一部となります。**残金の納入は2025年2月21日(金)まで**となります。参加者/保護者対象説明会(動画配信予定)にて改めてご連絡申し上げます。残金の分割払いをご希望の場合、担当者までお問合せください。

三井住友銀行 ひなぎく支店 当座 2854032 カ)エイティーアイ

- *振込人氏名は、ご参加生徒名にてお願いいたします。
- *振込手数料はお客様のご負担にてお願いいたします。
- *銀行振込控えを領収書とさせていただきます。

7. 取消料 参加決定後にお取消された場合は、下記の取消手数料がかかりますのでご注意ください。

2月20日(木)以降 3月19日(水)までの取消 ……旅行代金の20%
 3月20日(木)以降 3月22日(土)旅行開始前までの取消 ……旅行代金の50%
 旅行開始後に取り消した場合又は、無連絡不参加 ……旅行代金の100%

8. その他 当旅行実施については、担当旅行会社 株式会社ATIの旅行条件書並びに旅行業約款(受注型企画旅行の部)に基づいて行われます。約款、個人情報の取扱いに関しては同社のホームページにてご確認ください。担当者の説明に不明な点があれば下記総合旅行業務取扱管理者にご質問ください。

お客様の状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮・措置また、医師の診断書のご提出が必要になる可能性があります。特別な配慮・措置が必要となる可能のある方(例:心身に障害のある方、生死に関わる持病や治療中の疾病をお持ちの方等)はご相談させていただきますので、お申し出ください。

担当旅行会社 : 株式会社ATI

観光庁長官登録旅行業第141号・日本旅行業協会(JATA)会員・同JATAボンド保証協会会員

旅行業公正取引協議会会員・国際航空運送協会(IATA)公認

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-4-1 神田岩本町プラザビル 8階

Tel(03)5829-6396 Fax(03)5829-6397

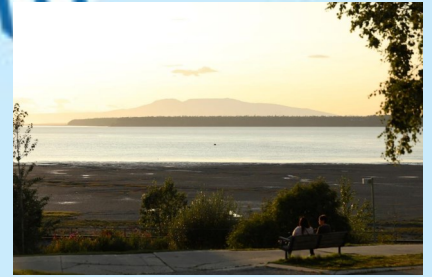
ホームページ: <https://ati-jp.com>

総合旅行業務取扱管理者: 五十嵐 雅之 担当: 桶川友里恵

アラスカの冬のツアーQ&A

Q：アンカレッジの気候を教えてください

A：3月の平均気温は（最低 -7°C ／最高 1°C ）です。日本の北海道、網走の平均気温に近い気候と言えます。3月下旬の日の出がだいたい8時半頃、日の入りは20時半頃です。



Q：服装に注意点はありますか

A：極寒の気候に対応できるよう適切な防寒対策が必要です。寒さを防ぎつつ、体温調整しやすいように3層の服装が基本です。

- ベースレイヤー（肌に触れる層）
 - ・ウールや高品質な化学繊維で汗を吸収して乾きやすい素材
- ミドルレイヤー（保温層）
 - ・保温性を高めるフリース、ダウン、厚手のセーターなど
- アウターレイヤー（防風、防水）
 - ・防水加工されたパーカーやスキー用ジャケット



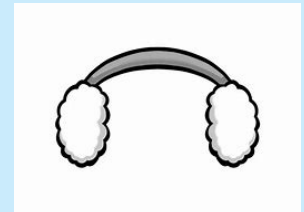
Q：靴はどのようなものが必要ですか

A：防寒、防水、滑り止め機能を備えたものが必要です。中綿など足を寒さから防ぐもので体感温度表示なども確認してみましょう。そして防水機能は必需です。ゴアテックスや防水機能を備えたものをご準備ください。また、滑り止めとして靴底にしっかりと溝のあるものがよいでしょう。足首まで覆うものがお勧めです。



Q：何か特別な持ち物は必要ですか

- A：寒さ対策として下記のものはお勧めいたします。
- 厚手のウールなどの靴下
 - 内側が断熱外が防水の手袋
 - 耳を覆えるニット帽やフリースの帽子
 - ネックウォーマー
 - イヤーマフ（耳当て）
 - 雪面からの反射光を防ぐサングラス
 - ホッカイロ等
 - 保湿クリーム



Q：アンカレッジの治安状況は

A：アメリカの中都市としての治安状況は悪くありませんが、当然、夜間の一人歩きなどは厳禁です。ただし今回のツアーでは昼間の範囲を限定した（ショッピングモール内など）班別行動以外はグループでの行動となります。持ち物（特にパスポート）の管理など注意事項を添乗員からも現地でご案内いたします。



Q：お小遣いはいくら位必要ですか

A：今回のツアーでは8回の昼食が各自でのお支払いとなっております。日本円でだいたい2,000円～3,000円を予算としてだいたい3万円位のアメリカドルでのご準備をお願いいたします。あとは、お土産などのお小遣いとなります。



■海外危険情報、現地の治安・病気について

渡航先(国、または地域)によっては、外務省により危険情報などの安全関連の海外渡航関連情報が出されている場合があります。お申込みの際にご確認下さい。海外渡航関連情報は、外務省海外安全相談センターなどでもご確認頂けます。

外務省 TEL:03-3580-3311 [海外安全ホームページ] <http://www.anzen.mofa.go.jp/> [厚生労働省検疫所] <http://www.forth.go.jp/>

ご旅行条件(要約)

■**募集型企画旅行契約**:この旅行は(株)ATI(以下「当社」といいます。)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終旅行日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によりします。

■**条件**:18歳未満の方のご参加は、父母または親権者の同意書が必要です。参加にあたって特別の条件を定めた旅行については、条件に合致しない場合、ご参加をお断りする場合がございます。

■**旅行のお申込み及び契約成立時期**:当社にて当社所定の申込書に所定の事項を記入し、申込金4万円を添えてお申込みください。申込金は、旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申込みの場合、当社が予約の承諾の旨を通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払いをしていただきます。旅行契約は当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領した時に成立いたします。

■**旅行代金のお支払い**:旅行代金は旅行開始日の前日から起算して40日目にあたる日より前にお支払いください。

■**取消料**:旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目にあたる日以降～3日目にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日～当日	旅行代金の50%
旅行開始後(※)又は無連絡不参加	旅行代金の100%

※旅行開始後とは乗客のみが入場できる飛行機構内手荷物検査等の完了時

■**旅行代金に含まれるもの**: (いずれも旅行日程に明示されたものに限り)これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。●航空、船舶、鉄道など運送機関の運賃・料金(特に記載がない限りエコノミークラスを基準とします)●団体行動中のチップ●送迎バスなどの料金●観光の料金(バス料金・ガイド料金・入場料)●宿泊ホテル費用及び税・サービス料金(2～4名様ずつの宿泊を基準とします)●日程に明示されている食事の料金及び税・サービス料金●航空機による手荷物の運搬料金(航空会社の手荷物有料化に伴い一部含まれない場合があります)●現地での手荷物の運搬料金(一部含まれないケースがあります。また、一部の空港・ホテルではお客様ご自身で運搬していただく場合があります)●添乗員の同行費用

■**旅行代金に含まれないもの**:前項の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。●各航空会社により設定される手荷物運搬料金及び有料の機内食や飲み物代金等●超過手荷物料金●クリーニング代、電話代、ホテルのボーイ・メイド等に対する心づけ、その他の追加飲食など個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金●渡航手続き関係諸費用●日本国内の空港施設使用料等●日本国内における自宅から各コース発着空港集合・解散地点までの交通費・宿泊費●旅行日程中の空港税等(但し、空港税などを含んでいることを明示したコースを除きます)●燃油サーチャージ

■**特別補償**:当社は当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規定に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故によりその身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、予め当社約款特別補償規定に定める金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

■**旅行条件・旅行代金の基準**:この旅行条件は2025年1月1日を基準としています。又、この旅行代金は2025年1月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は、2025年1月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています

■**その他**:●当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名をご記入される際には、ご旅行に使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。お客様の氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要になります。この場合、当社はおお客様の交代の場合、お客様の交代手数料をいただきます。尚、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には当社所定の取消料をいただきます。●航空運送約款又は航空会社の定めにより日程上実際に利用できない複数の予約(重複予約)をお持ちの場合、航空会社で予約が取り消されても責任を負いません。

ご案内とご注意

■渡航手続きについて

●旅券(パスポート)をお持ちでない方や期限切れの方は旅券の新規取得が必要となります。●訪問する国により、乗継時等における旅券の必要残存期間が異なります。お持ちの旅券が今回の旅券に有効かどうかのご確認、旅券・査証(ビザ)の取得はお客様ご自身でお願いいたします。尚、旅券発給申請、査証の申請書類作成などについては、別途、渡航手続き代行契約

を締結していただいた上でお取扱いしております(要代行料金)

●**旅券(パスポート)について**:各ツアーのページ下部に日本国籍の方の必要残存期間について、ご案内しております。その期間を満たしている旅券が必要です。これは2025年1月1日現在の情報となり予告なく変更になる場合がありますので、最新情報をご確認ください。また、航空便の乗継ルートによっては、ほかの国の必要旅券残存期間を要求される場合があります。必要残存期間以上の余裕のある旅券をご用意いただくことをおすすめします。国籍により必要残存期間や条件などが異なりますので、ご注意下さい。

●**ビザ(査証)について**:日本国籍の方は当パンフレットでご案内の旅行先では90日以内の観光の場合査証は不要です。2025年1月1日現在の情報となり予告なく変更になる場合がありますので、最新情報をご確認ください。外国籍の方で、ビザ(査証)が必要な場合、最終的にビザ取得が出来なかった場合でも、規定の取消料がかかりますのでご注意ください。

■親権者の渡航同意書

渡航国より、未成年者のみの渡航の際、親権者2名の渡航同意署名が必要となる場合がございます。弊社ではトラブルを防ぐため、親権者2名のご署名を頂けない場合は、渡航国により戸籍簿本の英文訳(※費用が別途かかります)をご準備頂くようお願いしております。

■最少催行人員未達による催行中止のご案内について

お申込みコースの旅行が催行されない場合は、出発の45日前までにご連絡いたします。

■航空機・バス・観光・お食事について

●航空機の移動について

各日程表内に記載の航空機発着時間および便名は2025年1月1日を基準としています。あらかじめ便名が指定されている場合も航空会社のスケジュール変更等に伴い、便名が変更される場合があります。また、発着時刻は目安です。確定発着時間及び便名は旅行出発前にお渡しする最終旅行日程表にてご確認ください。

●**運送機関の遅延・不通・スケジュール変更・経路変更など**、また、これらによって生じる旅行日程の変更・目的地滞在時間の短縮及び観光箇所の変更、削除などが生じる場合もあります。このような場合責任は負いかねますが、当初日程に従った旅行サービスが受けられるよう手配努力いたします。

●パンフレット記載の航空会社は全ての路線が全席禁煙となります。

●機内食は食事回数に含まれません。

●国内航空便及び前泊ホテルをご希望の方はお問い合わせください。

■スケジュールについて

宿泊ホテル、および利用航空便などのスケジュール内容についてはご出発の2週間前～7日前(遅くとも前日まで)にお渡しする最終旅行日程表にてご確認ください。

■燃油特別付加運賃(燃油サーチャージ)

各航空会社では昨今の世界的な航空燃油価格の高騰をうけ、「燃油特別付加運賃・料金(以下、燃油サーチャージ)」を設定し、国土交通省に申請・許可されました。それに伴い、旅行代金とは別途お客様にお支払頂くことになりました。当コースの目安は各発着地により異なりますので、各コースのページをご確認下さい。尚、今後、燃油サーチャージは変動する場合がございます。残金請求時に旅行代金とともにご請求させていただきますので、予めご了承ください。(フルネイムは旅行代金に含まれており、追加のご請求はありません)

■空港税等について

●渡航先の国々(または地域)によっては、その国の法律などにより渡航者個人に対して空港税などの支払いが義務付けられています。

●旅行代金には、空港税は含まれておりません。空港税などのうち、航空券発券時に徴収することを義務付けられているもの、また日本の各空港施設使用料は旅行代金と合わせて日本円でお支払いください。税額などの詳細は2025年1月1日現在の税額を各コース毎に明記してあります。

●複数の国や都市を訪問する旅程では、空港税等はその都度必要となります。また、同じ旅程であっても使用する航空機便の経路する空港や国や都市のめぐり方によって合計金額が異なる場合があります。

●空港税等の新設又は税額が変更された場合、徴収額が変更になる場合があります。

■海外旅行保険加入のご案内

●海外での万一の事故や病気の場合、多額の費用がかかる場合があります。お客様ご自身で十分な海外旅行保険(疾病、傷害、賠償など)に加入されることをおすすめします。

■**個人情報の取り扱いについて** 当社はお申込書にご記入頂いたお客様の個人情報について、お客様のご連絡、ご旅行におけるサービスの手配のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

■その他

●**時間帯の目安**:航空機、バス等の移動の発着時刻をもとにした目安です。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4時	6時	8時	12時	16時	18時	23時 4時